

シラバス例

大地真介（広島県広島市）

科目：Reading（90分授業、履修者数40～50名程度を想定）

目的：この授業では、英語の習得に関する英文エッセイを精読することによって英語の読解力を養う。副次的には、それらの英文エッセイの音声教材を活用して英語の聴解力もつける。

授業計画：毎回、教科書の一つのエッセイを精読し、内容理解の問題の答え合わせをする。

| 回 | 授業内活動 | 次回に向けた学生の宿題 |
|---|---|---|
| 1 | 授業の進め方等について説明する。 | Chapter 1の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 2 | 出席を取る（5分）。学生を指名してChapter 1の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく（55分）。Chapter 1の問題の答え合わせ（20分）。習熟度チェックシートに記入させる（10分）。 | Chapter 2の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 3 | 出席を取る（5分）。学生を指名してChapter 2の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく（55分）。Chapter 2の問題の答え合わせ（20分）。習熟度チェックシートに記入させる（10分）。 | Chapter 3の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 4 | 出席を取る（5分）。学生を指名してChapter 3英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく（55分）。Chapter 3の問題の答え合わせ（20分）。習熟度チェックシートに記入させる（10分）。 | Chapter 4の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 5 | 出席を取る（5分）。学生を指名してChapter 4の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく（55分）。Chapter 4の問題の答え合わせ（20 | Chapter 5の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセ |

| | | |
|----|--|---|
| | 分)。習熟度チェックシートに記入させる(10分)。 | イを音声教材で聴く。 |
| 6 | 出席を取る(5分)。学生を指名して Chapter 5 の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく(55分)。Chapter 5 の問題の答え合わせ(20分)。習熟度チェックシートに記入させる(10分)。 | Chapter 6 の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 7 | 出席を取る(5分)。学生を指名して Chapter 6 の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく(55分)。Chapter 6 の問題の答え合わせ(20分)。習熟度チェックシートに記入させる(10分)。 | Chapter 7 の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 8 | 出席を取る(5分)。学生を指名して Chapter 7 の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく(55分)。Chapter 7 の問題の答え合わせ(20分)。習熟度チェックシートに記入させる(10分)。 | Chapter 8 の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 9 | 出席を取る(5分)。学生を指名して Chapter 8 の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく(55分)。Chapter 8 の問題の答え合わせ(20分)。習熟度チェックシートに記入させる(10分)。 | Chapter 9 の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 10 | 出席を取る(5分)。学生を指名して Chapter 9 の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく(55分)。Chapter 9 の問題の答え合わせ(20分)。習熟度チェックシートに記入させる(10分)。 | Chapter 10 の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 11 | 出席を取る(5分)。学生を指名して Chapter 10 の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく(55分)。Chapter 10 の問題の答え合わせ(20分)。習熟度チェックシートに記入させる(10分)。 | Chapter 11 の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 12 | 出席を取る(5分)。学生を指名して Chapter 11 の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく(55分)。Chapter 11 の問題の答え合わせ(20分)。習熟度チェックシートに記入させる(10分)。 | Chapter 12 の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 13 | 出席を取る(5分)。学生を指名して Chapter 12 の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく(55分)。Chapter 12 の問題の答え合わせ(20分)。習熟度チェックシートに記入させる(10分)。 | Chapter 13 の英文エッセイを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 14 | 出席を取る(5分)。学生を指名して Chapter 13 の | Chapter 14 の英文エッセ |

| | | |
|----|--|------------------------------------|
| | 英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく (55分)。Chapter 13 の問題の答え合わせ (20分)。習熟度チェックシートに記入させる (10分)。 | イを読み、問題を解いてくる。また、その英文エッセイを音声教材で聴く。 |
| 15 | 出席を取る (5分)。学生を指名して Chapter 14 の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく (55分)。Chapter 14 の問題の答え合わせ (20分)。習熟度チェックシートに記入させる (10分)。 | 期末テストの準備。 |

授業案 (第 10 回を例に)

| 授業内活動 | 時間 | 活動・指導内容 |
|---|-----|---|
| 出席を取る | 5分 | |
| 学生を指名して Chapter 9 の英文エッセイを一文ずつ訳させ、その訳を正していく | 55分 | 以下の文章の文法を特に詳しく解説する。 (1) “[One] million American soldiers would have been killed if the United States had not done so.”が仮定法過去完了であることを説明し、仮定法過去と仮定法過去完了を簡単な例文を用いて解説する。 (2) “I would not have studied English fervently had I not been born in Hiroshima.”も仮定法過去完了であることを指摘し、if 節は if を省略すると倒置構文になることを解説する。 |
| Chapter 9 の問題の答え合わせ | 20分 | それぞれの問題について、必要に応じて学生とやり取りをしながら、どこを読めば、あるいはどのように考えれば答えが導き出せるかを解説する。 |
| 習熟度チェックシートに記入させる | 10分 | この時間は、時間配分の調整の意味もあるので、授業が長引いた場合は、チェックシートへの記入は自宅で行なうように指導する。 |